

次世代リレートーク報告者募集

非常勤講師・ポスドク・大学院生（博士後期課程）など

常勤職に従事していない研究者限定

日本移民学会は、広義での移民研究に関わる斬新な研究をリレートーク形式でコンパクトに紹介して下さる方を募集します。各報告にはコメンテーターからフィードバックがあり、ベストペーパーには日本移民学会より賞状と粗品が贈呈されます。本企画は、次世代の移民研究者にネットワーク構築の場を提供することを目的としています。

日時：2022年12月10日（土）13:00~18:30（日本移民学会冬季研究大会1日目）

開催方式：対面のみ

場所：新丸の内ビルディング10階 京都アカデミアフォーラム in 丸の内
東京都千代田区丸の内1丁目5-1

*交通費補助あり（関東圏以外からの報告者は、1万5千円を上限として新幹線代・航空運賃・特急券の半額を補助します。）

*コロナの感染状況により、延期または中止する可能性があります。その場合、事前参加登録頂いた方には直ちにご連絡いたします。

報告者：8名 **報告時間：**一人10分

応募資格：非常勤講師・ポスドク・大学院生（博士後期課程）など、常勤職に従事していない研究者（原則として大学院博士前期課程に入学したのち研究歴15年未満）。

*移民学会会員であるか否かは問いません。当日の全プログラムに参加できる方

応募方法：1000字程度のアブストラクト（研究方法、オリジナリティを含む）、履歴書、業績一覧（様式自由）を9月10日までに移民学会冬季研究大会窓口

（jamswinter2022@gmail.com）宛てに「次世代リレートーク応募」と件名に明記の上、提出してください。（1週間以内に受領の返信をします）。選考は委員会が公正に審査し、9月30日までに結果をお知らせします。

主催：日本移民学会（ホームページ <https://imingakkai.jp/>）

共催：科学研究費基盤（S）「人種化のプロセスとメカニズムに関する複合的研究」

第7回日本移民学会冬季研究大会

2022年12月10日(土)～11日(日)

第一日目 2022年12月10日(土) 13:00～18:30

場所：新丸の内ビルディング10階 京都アカデミアフォーラム in 丸の内

開催方式：対面方式のみ

プログラム概要

総合司会：佃 陽子(成城大学)

開会の辞 竹沢泰子(京都大学)

第1部 シンポジウム 日本・アジアの移民

アンジェロ・イシ(武蔵大学)

「在日ブラジル人の動向と展望、移民研究の楽しさと重圧」(仮)

李 里花(中央大学)

「日本における朝鮮人女性のイメージと歴史

—移民女性史研究からみる移民研究の課題と可能性」(仮)

第2部 次世代リレートーク 司会：菅 美弥(東京学芸大学)

リレートーク(各報告10分×8人)

コメント 兼子 歩(明治大学)

塩原良和(慶應義塾大学)

交流会

同フロアの京都大学東京オフィスにて

第二日目 2022年12月11日(日) (詳細は後ほど移民学会HPでお知らせします)

自由論題およびラウンドテーブル

開催方式：オンライン